

燕・弥彦総合事務組合水道局
上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務委託

事業者選定結果報告書

令和 7 年 10 月

上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務に係る事業者選定委員会

【事業者選定結果報告書】

目 次

1 はじめに	- 1 -
2 本業務について	- 1 -
3 本委員会について	- 1 -
4 プロポーザル応募の手続きの経緯.....	- 2 -
5 審査の手順	- 3 -
6 審査の結果	- 4 -
1) 応募者	- 4 -
2) 提案価格審査	- 4 -
3) 書類審査.....	- 4 -
4) 評価.....	- 4 -
5) 評価結果.....	- 5 -
6) 最終受託候補者の選定.....	- 5 -
7 講評	- 6 -
1) 評価項目ごとの講評	- 6 -
2) 総評.....	- 7 -

1 はじめに

上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務に係る事業者選定委員会（以下、「本委員会」という。）は、上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務（以下、「本事業」という。）に関して、評価基準書（令和7年8月公表）に基づき、提案内容等の審査を行い、最終受託候補者を選定したので、ここに審査結果及び審査講評を報告する。

2 本業務について

上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務については、事業の適正かつ合理的・効率的な執行及び利用者に対するサービス水準向上を図るため、公募型プロポーザル方式により最も優れた能力を有する者を決定する。

3 本委員会について

選定委員名及び開催経緯について

・選定委員名

種別	所属・肩書	氏名
有識者	新潟県三条地域振興局 地域整備部副部長	大岩 智子
有識者	新潟市水道局総務部 料金課長	渡部 雄一
有識者	白根ガス株式会社 営業部長	磯田 頭
職員	燕・弥彦総合事務組合 水道局長	土田 和久
職員	燕・弥彦総合事務組合 水道局 施設課長	入倉 厚

・開催経緯

選定委員会	開催日	内容
第1回	令和7年8月8日（金）	・実施要項（案）の審議 ・業務委託仕様書（案）の審議 ・評価基準書（案）の審議 ・提出様式（案）の審議
第2回	令和7年10月29日（水）	・プレゼンヒアリング、質疑応答 ・提案内容の審査 ・最終受託候補者の選定

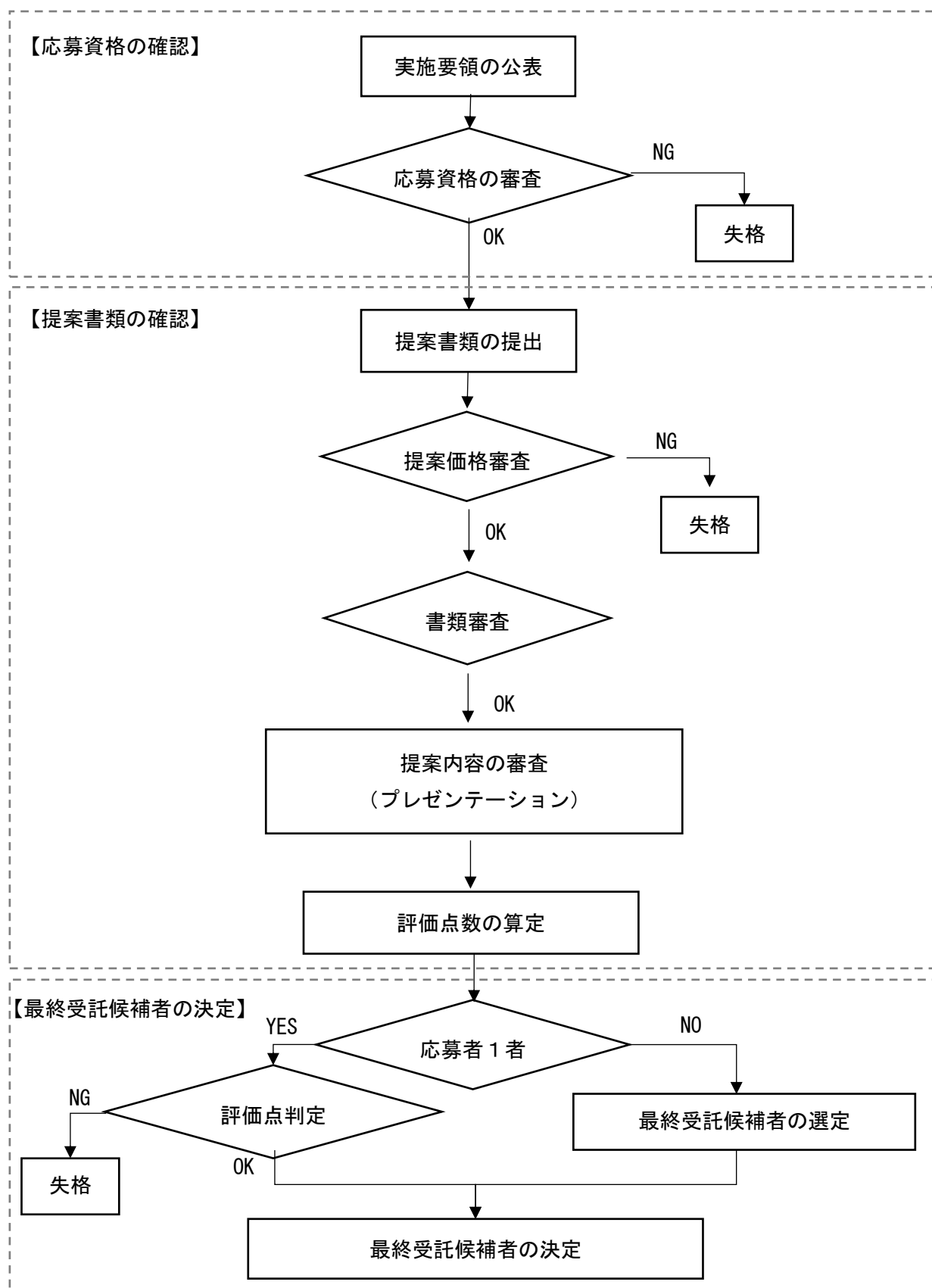
4 プロポーザル応募の手続きの経緯

プロポーザル応募の手続きの経緯は、以下のとおりである。

実施事項	日 付
参加募集の公告	令和 7 年 8 月 27 日（水）
参加申込書等の提出期限	令和 7 年 9 月 12 日（金）
参加資格審査結果通知	令和 7 年 9 月 19 日（金）
業務提案書等の作成に必要な資料の閲覧期間	令和 7 年 9 月 19 日（金） から 令和 7 年 9 月 25 日（木） まで
業務提案書等の作成に係る質問書等の提出期限	令和 7 年 9 月 29 日（月）
質問に対する回答	令和 7 年 9 月 30 日（火）
業務提案書等の提出期間	令和 7 年 10 月 6 日（月） から 令和 7 年 10 月 10 日（金） まで
プレゼンテーション及びヒアリング	令和 7 年 10 月 29 日（水）
委員会による審査 最終受託候補者の決定	令和 7 年 10 月 29 日（水）
参加資格確認結果の通知	令和 7 年 10 月 29 日（水）

5 審査の手順

審査は、以下の手順で実施した。



6 審査の結果

1) 応募者

令和7年9月12日までに、1者から参加表明書等の提出があり、実施要領等に示す参加資格の要件の具備について確認した。その結果、応募者は参加資格を有していることを確認し、令和7年9月19日付で、参加資格確認の結果を通知した。

なお、これ以降は応募者を受付番号1と呼称する。

2) 提案価格審査

受付番号1の提案見積額は下記のとおりで、提案価格審査の要求を満たしていることを確認した。

見積上限価格	637,500,000
提案見積額	605,625,000
提案見積比率	95.0%

3) 書類審査

令和7年10月10日までに、受付番号1から提案書類の提出があり、提案書の各様式に記載された内容が委託仕様を満たしていることを確認した。

4) 評価

事業者選定委員会の各選定委員は、評価基準に基づき、評価を行った。

評価点は、400点を満点とし、評価項目ごとに5段階の判断基準によって行い、各選定委員の評価点を平均して下記のように算出した。

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの間	配点×0.75
C	平均的である	配点×0.50
D	CとEの間	配点×0.25
E	満足できない／能力が乏しい	配点×0.00

5) 評価結果

評価結果は、下記のとおりである。

審 査 項 目		配点	受付番号1
会社概要	会社概要(規模・財務状況)	10	10
業務実績	実務(受託)実績	20	20
業務体制	業務体制及び業務執行計画	30	27
	地域貢献(地元雇用、地元経済)に対する考え方	10	8
業務履行方法	窓口・受付業務に対する考え方	30	28.5
	閉開栓業務に対する考え方	10	8.5
	検針業務に対する考え方	30	27
	料金徴収業務に対する考え方	30	28.5
	滞納整理・給水停止業務に対する考え方	30	28.5
	研修体制に関する考え方	10	9
	漏水調査、水道管維持修繕及び検漏メーター取替計画に関する考え方	30	25.5
個人情報保護及び危機管理	個人情報保護及び情報セキュリティに関する考え方	20	18
	災害発生時や危機管理体制に対する考え方	20	18
その他業務提案	その他業務提案	20	18
提案見積に関する事項	業務提案見積金額及び積算内訳書	100	100
合 計		400	374.5

6) 最終受託候補者の選定

応募者が1者であったことから、本委員会は評価基準に基づき、提案見積に関する事項の評価点を除いた評価点(定性的評価項目)が配点300点中の274.5点(91.5%)であることを確認した。その結果、受付番号1を最終受託候補者として選定した。

【最終受託候補者】 (株)日本ウォーターテックス

7 講評

1) 評価項目ごとの講評

ア) 業務体制に関する事項

- ・ 急な欠員発生等の不測事態のバックアップ体制や対処方法が具体的に提示されている。
- ・ 不祥事防止と発生した場合の対応が明確に記載されている。
- ・ 地元人材の雇用はとても良いことであるが、教育するスタッフの充実も望むものである。
- ・ 地元雇用のほか、障がい者や高齢者雇用にも積極的に取り組む提案となっている。
- ・ イベントへの協賛など地域との協働関係強化の提案は評価できる。

イ) 業務履行方法に関する事項

- ・ 規定に基づいた定期監査や内部監査の実施が示されており、適正な公金の取扱いが図れている。
- ・ 検針業務で、漏水時の元栓の開け閉めによる使用方法をお客様に促すなど、きめ細かい対応が提案されている。
- ・ 抜き打ち検針調査は緊張感を持続させるうえでとても有効である。
- ・ 料金徴収業務での不納欠損削減のための、県内全域への訪問徴収の取り組みには期待が持てる。
- ・ 閉栓の際の精算料金の収納や支払い遅延がちとなっている方に対して、現地集金の実施を提示しているところは大いに期待できる。
- ・ 収納率向上を最重要要素としてとらえ、早期収納や口座振替の普及促進に向けた取り組みの提案がされている。
- ・ 接遇やクレーム対応など、最前線の業務に必須であるスキルアップにつながる研修が計画されている。
- ・ 漏水修繕などの実務研修会が計画されている点は高く評価できる。
- ・ メータ取替えや水質関連の問合せの対応方法（マニュアル整備）が提案されている。
- ・ 給水関連等業務においては、有資格者の配置に加え資格取得のサポートを行い、資格保有者の増員が計画されている。

ウ) 個人情報保護及び危機管理に関する事項

- ・ 閉開栓業務において、作業伝票を事務所から持ち出す際に「書類持ち出し授受簿」を利用するなど、対策がしっかり提案されている。
- ・ 帳票持ち出し時の 30 穴ファイルの活用にはこだわりを感じた。
- ・ 加圧式給水車 2 台を保有するなど、災害発生時の装備や協力体制が整っている。

エ) その他業務提案に関する事項

- ・ サービス及び業務品質の向上に向けた提案が数多く提案されており評価できる。
- ・ SMS の活用は、現代において有効な提案である。

2) 総評

本業務は、上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務を委託するものである。

公募の結果、応募者は1者に留まったものの、応募者の提案は、本業務の目的を達成することに対する意欲や熱意を感じさせるものであるとともに、応募者が保有する蓄積されたノウハウを活用した優れたものであった。本委員会の各選定委員の評価を踏まえた評価点は、評価基準で定めた一定の水準を超えるものであったことから、「㈱日本ウォーターテックス」を最終受託候補者として選定した。

最後に、提案書作成にあたって、応募者が多大な労力と時間を費やしていただいたことに対し、深く敬意を払うとともに、燕・弥彦総合事務組合水道局と受託者の双方が常に誠意をもって、業務が適正かつ合理的・能率的に実施されることを期待する。